

# 外部講師講演会を行いました

令和6年12月2日（月） オンライン開催

講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

統括研究員 横尾 俊 氏

講演テーマ：「知的障害教育における各教科の見方・考え方を働かせた授業づくり」

独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所  
NISE  
National Institute of Special Needs Education

## 知的障害教育における各教科の見方・考え方を働かせた授業づくり

令和6年12月2日（月）

Teacher as Researcher  
実践研究者としての教師

仮説：教科の「見方・考え方」を意識した授業デザインが児童生徒の学びの質を向上させ、主体的・対話的・深い学びを促進する

1. 教科の特質に応じた「見方・考え方」の理解と活用
2. 意図的な働きかけの重要性
3. 授業の検証を通じた改善

各教科等において通常行われている学習活動（言語活動、観察・実験、問題解決的な学習など）の質を向上させることを主眼とするもの  
特別支援学校小学部・中学部学習指導要領解説 総則編

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」の視点）の観測（イメージ）（案）

「アクティブ・ラーニング」の3つの視点から観測することにより、授業や学習の改善に向けた取組を活性化することができる。これにより、知識・技能を生きて働くものとして獲得することを含め、育成を目指す資質・能力を身につけるために必要な学習過程の質的改善を実現する。

資質・能力は相互に関連しており、例えば、習得・活用・探究のプロセスにおいては、習得された知識・技能が判断・判断・表現において、活用されるという一連の過程を経験することで、判断・判断・表現が生きて働くものとして獲得されたり、思考・判断・表現の中で知識・技能が更新されたりすることなども含む。

【アクティブ・ラーニング】の3つの視点からの学習過程の質的改善

- 深い学び
- 対話的な学び
- 主体的な学び

学びを人生や社会に生かそうとする学びの姿勢・人間的なゆとり

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成

※ 基礎的・基本的な知識・技能の習得に課題が見られる場合においても、「深い学び」の観点から学習内容の深い理解や動機付けにつなげたり、「主体的な学び」の観点から学びの動機や関心を引き出すことなどが重要である。

平成28年8月26日中央教育審議会教育課程部会資料2-4

算数・数学の学習過程のイメージ

算数・数学の問題発見・解決の過程

【現実の世界】 A1 数学化 → 数学的に表現した問題 → A2 数学化 → 【数学の世界】

日常生活や社会の事象 → 活用・意味づけ → D1 → 結果 → D2 → 数学の事象、統合・発展・体系化

日常生活や社会の事象を数理的に捉え、数学的に処理し、問題を解決することができる。

数学の事象について統合的・発展的に考え、問題を解決することができる。

事象を数理的に捉え、数学の問題を見いだし、問題を自立的・協働的に解決することができる。

※各場面での言語活動を充実  
※これらの過程は、自立的に、時に協働的に、それぞれに主体的に取り組めるようにする。  
※それぞれの過程を振り返り、評価・改善することができるようにする。

言語活動の充実について①

単子学習指導要領では、「種かな学力」、特に「思考力・判断力・表現力等」を高め、各教科等の目標を実現するための手立てとして、言語活動の充実について規定

小学校学習指導要領 総則（中学校・高等学校においても同様）

第1 教育課程編成の一般方針  
学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、授業にできる限り広くこれを活用し、創意工夫を凝らした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、自ら考えながら問題を解決する能力を高め、知識・技能から応用する能力を育成することにも、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を伸ばす教育の意図に努めなければならない。その際、授業の準備段階を考慮して、授業の言語活動を充実するとともに、授業中の言語活動を積極的に活用し、授業の学習指導要領を達成する必要がある。

第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項  
①(1)各教科等の指導に当たっては、思考力・判断力・表現力等を高める観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に関する関心や理解を高め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、授業の言語活動を充実すること。

例えば、一言授業だけではなく、先生が説明するだけでなく、生徒が説明する

ペアで意見を交換する

ホワイトボードを使って話し合う

村簿を使って話し合う

立場を決めて議論する

ポスターなどを作成して発表する

22

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（附則）補足資料（1/8）

始めに主体的・対話的・深い学びと資質能力の育成の関係性や「教育課程」と「指導計画」の接続（カリキュラムマネジメント）について、イメージ図を用いながらご説明いただきました。その後、算数・数学の学習過程や単元目標・評価基準を踏まえて研究授業のご助言をいただきました。

また、主体的・対話的・深い学びにおける言語活動の重要性についても、研究授業の場面を例にしながらご説明をいただきました。

今回の講演を受けて、普段の授業づくりを振り返り、今年度の研修のまとめをしていきたいと思います。

